

配布物選定理由

■酒蔵選定理由



- ・菊水酒造（新発田市）
- ・八海醸造（南魚沼市）
- ・吉乃川（長岡市）
- ・白瀧酒造（湯沢町）
- ・朝日酒造（長岡市）

新潟県においては、上記有名な酒蔵の他に89か所の酒蔵が存在します。

その中でも、**【今代司酒造】**は新潟の玄関口である新潟駅から一番近い酒蔵であり、2026 JCI ASPAC 新潟大会が開催される際のHQ候補地である朱鷺メッセからのアクセスも抜群です。

JCI ASPAC アンコール大会で日本酒を配布し、2026 JCI ASPAC 新潟大会の際には、その日本酒を製造する酒蔵に実際に足を運ぶことが可能であり、ブース来場者の2026 JCI ASPAC 新潟大会への参加のきっかけを創造することが可能であると考えます。

また、今代司酒造の2017年度酒蔵来訪者は3万人を超え、トリップアドバイザーでは新潟市観光ランキングで1位、外国人訪問者に聞いた新潟市の地域資源に関する認知度ランキング（2017年度）でも1位になるなど、特に海外からの来訪者への対応に実績があることが伺えます。

【今代司酒造】



所在地

〒950-0074新潟県新潟市中央区鏡が岡1番1号

TEL 025-245-3231年中無休（年末年始除く）AM 9:00~PM 5:00



■銘柄選定理由

新潟におけるキラーコンテンツである日本酒を配ることで、新潟を強く印象付けることが可能であると考えます。

また、酒蔵選定理由で挙げた通り、今代司酒造は2026 JCI ASPAC 新潟大会において重要な観光資源であると確信しており、JCI ASPAC アンコール大会ではそのインバウンドを狙う上で有意義な場です。

その今代司酒造の代表銘柄である【錦鯉】はインターナショナル・ワイン・チャレンジ (International Wine Challenge(IWC)) で銀賞受賞の他、イギリス、ニューヨーク、ロンドン、ドイツ、イタリア、香港などでデザイン賞 (The One Show、Cannes Lions、D&AD、iF Design Award など) を受賞するなど、国内はもとより国外の知名度が特に高い銘柄であると言えます。



【純米大吟醸 今代司 極上】は新潟県のみで生産が許される高級酒造好適米(酒米) 越淡麗(こしたんれい)を100%使用し、新潟を余すところなく堪能ができる銘柄です。International Wine Challenge 2015 コメンデッド受賞。

